

楠浦の“よかところ”を歩く！

楠浦よかところスタンプラリー大会

楠浦町の名所や文化財などを歩いて回る「楠浦よかところスタンプラリー大会」が1月11日、楠浦地区コミュニティセンターをスタート・ゴールとする7kmのコースで開かれ、151人が参加しました。

参加者は、地元住民で組織する“よかところ案内人”の案内を受けながら歩き、県指定文化財の眼鏡橋のほか、伊賀倉権現古塔群などのチェックポイントでスタンプを押印し、ゴールを目指しました。ゴール後にはだご汁のふるまいや抽選会が行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしていました。



▲チェックポイントの伊賀倉権現古塔群

読書の楽しさを知ろう

天草市読書フェスティバル

1月10日、「天草市読書フェスティバル」が天草市民センター展示ホールで開かれ、親子など230人が来場しました。

絵本作家の川端誠さんが、絵本の読み聞かせや「絵本とともに旅をして」と題した講演を実施。読み聞かせでは、“うえきばちです”や“地球をほる”などの絵本を身振り手振りを交えながら話され、子どもたちは楽しそうに聞き入っていました。



▲読み聞かせをする川端さん

懸命にたすきをつなぐ

新和町一周駅伝大会

新和まちづくり協議会主催の「第50回新和町一周駅伝大会」が1月11日、市新和支所前をスタート、新和町民センターをフィニッシュとする10区間23.9kmのコースで開かれました。地区ごとに組織された15チーム・250人が参加。選手たちは、沿道からの盛んな声援を受けながら、一生懸命にたすきをつないでいました。



▲たすきが渡されるようす

“旅館白磯”が国の登録有形文化財に

国の登録有形文化財

天草町高浜にある“旅館白磯”が12月19日、国の登録有形文化財（建造物）になりました。旅館白磯は、日本人で初めてアフリカにあるマダガスカル島に渡り、ホテルや映画館経営で成功した赤崎伝三郎氏の元邸宅。昭和25年からは、旅館として営業されています。登録されたのは、大正3（1914）年建築の離れ座敷、昭和12（1937）年建築の本館と倉庫。和風建築と洋風建築をあわせた建築が特徴です。このほか市では、旧天草教育会館（現天草文化交流会館・船之尾町）、上田家住宅（天草町高浜）が国の登録有形文化財に登録されています。



▲旅館白磯の本館

牛深で育ったタイヤブリを全国各地へ発送

正月用のタイ・ブリの発送

12月28日、天草漁協牛深総合支所の後浜北荷捌所で正月用のタイ・ブリの発送作業が行われました。牛深商工会議所などで行われる「ハイヤのふるさと牛深会」が毎年実施しているもの。今年は、全国から2,071件の注文があり、同会の職員や養殖業者など30人が箱詰め作業に追われていました。



▲発送作業をする職員たち

世代間の交流を深める

高齢者と小学生の交流会

12月23日、倉岳町の宮田地区振興会主催の「高齢者と小学生の交流会」が宮田地区コミュニティセンターで開かれ、60人が参加しました。今回はグラウンドゴルフが行われ、子どもたちは高齢者に打ち方を教えてもらいながらプレーを楽しんでいました。

その後、だご汁やおにぎりをいっしょに食べたり、互いに自己紹介をしたりするなど交流を深めていました。



▲グラウンドゴルフをする参加者